

# 吉賀中だより

令和7年10月3日  
吉賀町立吉賀中学校  
(文責：城市)

## 令和7年度 学校教育目標

「**自他を大切に、共に自らの可能性を広げる生徒の育成**」

## 2学期が始まりました

2学期が始まり早いものでひと月が過ぎようとしています。今年の夏は、猛暑を超えた“酷暑”という言葉が頻繁に使われるほど、体温に近い高温の日々が続き連日ニュースで熱中症対策が呼びかけられました。私も熱中症にならぬよう体調管理に気をつけると共に、屋外での作業時は様々な暑さ対策を講じました。農作物への影響も心配されるくらいにかつて体感したことのないほどの暑い毎日。9月になれば収まってくるだろうという希望は打ち砕かれ、9月になってからもこの酷暑はなかなか収まりませんでした。運動会練習や部活動など校庭で活動することの多い9月ですので、不安な2学期スタートになりました。このような暑さの中ですが、全校生徒は無事に元気に2学期を迎えることができ、学校には生徒たちの笑顔と明るい笑い声が戻ってきました。

9月1日(月)が2学期の始業式。始業式では、大きな行事の多い2学期だからこそ、3年生を中心に全校で「**団結**」「**協力**」して準備や練習にしっかり取り組み、自分たちだけでなく保護者や地域の方々に大きな感動を与える成果を見せて欲しいと話しました。「**団結**」「**協力**」とひと言で言いますが、そのために大事にして欲しいこととして『**脚下照顧**』の話をしました(福井県の永平寺には入り口に「**脚下照顧**」と書いた札(ふだ)があります)。「**脚下照顧**」という意味は、「**足下を照らし自らを顧みよ**」ということです。つまり、他者に対して理屈を言う前に自分の足もとをよく見て、自己を顧みなさいという意味です。具体的な実践としては「履き物をきちんとそろえましょう。履き物をそろえることで、自分の行いをよく見てよく考えましょう。」という意味にもあたります。普段の学校生活にもあてはまることで、昇降口の靴、体育館入り口の体育館シューズなど、私も時々見にいけますがいつも綺麗にきちんとそろえている人が多くいます。履き物がそろうということは、その人の心もそろっているのですよ、と始業式では次のような詩も併せて紹介しました。

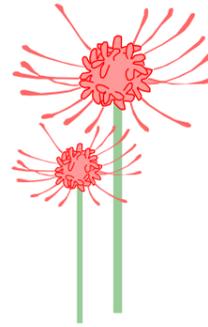
はきものをそろえると心もそろう      心がそろうとはきものもそろう  
ぬぐときにそろえておくと      はくときに心がみだれない  
だれかがみだしていたら      だまってそろえておいてあげよう  
そうすればきっと世界中の人の心もそろうでしょう

体育祭や文化祭などの大きな行事では、練習・準備の仕方や取組の考え方の違いからよく意見がぶつかり合うものです。より良いものに仕上げたいこうという思いからお互いの意見がぶつかり合うのですから本当は良いことなのですが、意見だけでなくお互いの感情までもがぶつかり合ってしまう、しこりが残ったり引きずったりしてあまり良い結果にはならないことが多くあります。でも、その際に自分の意見だけ押し通そうとしたり他者を否定的に見てしまったりするのはなく、お互いが自分自身を振り返り他者を尊重しながら話し合いを進めていくことが出来れば、より素晴らしいものを協力して作り上げていくことが出来ます。

たとえ成果を思い通りに出すことが出来なくとも、共に同じベクトルで同じゴールをめざし進んで行くことができれば、成果以上の大切なものを得ることが出来るでしょう。実りの秋を迎え、この2学期が素晴らしいものとなるようみんなで力と心を合わせて進んで行く学期にしていきたいと思えます。

### めざす生徒像

- 誠実な生徒 **【敬愛】**
- 自ら行動できる生徒 **【自主】**
- 新たな表現のできる生徒**【創造】**
- 学び合い高め合う生徒 **【剛健】**



## 鹿足郡少年の主張大会

1学期末の校内弁論大会を経て学校代表として、**さん**(1年:演題「周りからの支え」)と **さん**(2年:演題「友達」)が、9月3日(水)日原中学校で行われた鹿足郡少年の主張大会に出場しました。夏休み中から何回も何回も練習を重ねて迎えた本番。審査員や他校の弁士、先生、日原中学校の全校生徒が聴衆として参列していましたので、校内とは異なる大勢の人の前での発表でした。これまでにない緊張感に包まれながらの発表でしたが、2人とも堂々とハキハキとした発表を気持ちを込めて行うことができ、自らの思いをしっかりと聴衆に主張することが出来ました。とても立派な態度での主張でした(よほど緊張していたのでしょうか、終わった瞬間自席に戻るとホッとした表情になっていました)。

結果は次の通りでした。2人ともお疲れ様でした。

**さん** 優秀賞3席

**さん** 優良賞



## たくさん活躍しています

◇県総体ソフトテニス(7月20日(日)松江市)

1回戦      ・      ペア(3年)      3-4      湖南中(松江市)

随所に好サーブ・好プレイを発揮し序盤はリードをしたものの、追いつかれ逆にリードを許すシーソーゲーム。後半に追いつきフルゲームに持ち込む粘りを見せ、手に汗握る大接戦でした。あと一歩及ばず惜敗しましたが、2人とも力を出し切った爽やかな表情でした。よく頑張りました!



◇アイススポーツ杯益田市・鹿足郡中学校秋季野球大会(8月30日(土)・31日(日))

準決勝      吉賀中      4-0      津和野中・日原中・東陽中

決 勝      吉賀中      1-2      益田中

準優勝!



◇島根県硬筆書写コンクール益田地区審査会

銀賞      さん(3年)      さん(2年)      さん(1年)

さん(1年)      さん(1年)

銅賞      さん(3年)      さん(3年)      さん(3年)

さん(3年)      さん(2年)      さん(2年)

さん(1年)      さん(1年)      さん(1年)

さん(1年)      さん(1年)

◇青少年読書感想文全国コンクール鹿足郡審査会

銀賞      さん(3年)「人生になくはないもの」(書名:夢をかなえるゾウ3)

さん(2年)「江戸の数学」(書名:円周率の謎を追う)

銅賞      さん(1年)「人種差別」(書名:ジャッキー・ロビンソン)

◇鹿足郡科学作品展（理科室前に掲示しています）

- 金賞      さん（3年）「光源を家で作るには」  
          さん（3年）「地震の発生と液状化現象の実験」
- 銀賞      さん（1年）「油性ペンと水性ペンのにじみ方」  
          さん（1年）「冷却グッズの効果と持続時間」
- 銅賞      さん（2年）「DNAを取り出す実験」  
          さん（2年）「竹のフィラメント」

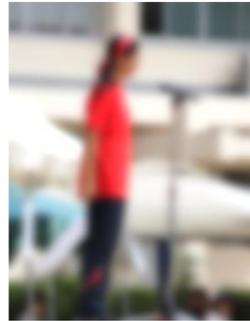
◇校内人権標語コンテスト（会議室前に掲示しています）

- 入選      さん（1年） 「話す前に 傷つかない言葉を 考えよう」  
          さん（1年） 「無理をして 合わせなくても しゃあないよ」  
          さん（2年） 「人権は 言葉で守る これが合言葉」  
          さん（2年） 「安心する場所 安心する仲間 みんなでつくろう」  
          さん（3年） 「その言葉 画面越しでも 傷ついている」  
          さん（3年）  
          「まわりの目なんか 気にすることはない はっきり言おう 自分の意見」

**令和7年度小中合同運動会**

9月27日（土）に、七日市小学校・吉賀中学校合同運動会を開催しました。暑さ対策のため例年より2週間遅い開催としましたが、お陰様で薄曇りに時折日差しのみさず絶好の運動会日和に恵まれ、児童・生徒みんなで躍動する素晴らしい運動会になりました。今年のスローガンは「心をついに ~Full Smile~」で、1学期から小中合同で心をついに取組を進めてきました。当日までの練習や準備では、思い通りに出来なかったり、どう進めていくべきか悩んだりしながら教職員も一緒になってやきもきする毎日でしたが、3年生を中心に作り上げ全校が一致団結した見事な姿を見せてくれました。

- ◇総合優勝 赤組      ◇応援賞 赤組      ◇パネル賞 赤組
- ◇小中合同全員リレー 青組      ◇リーム回し 3年Bチーム



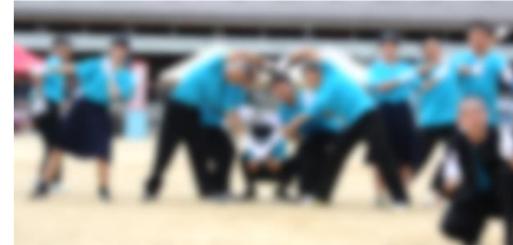
小中台風旋風



スパイ大作戦



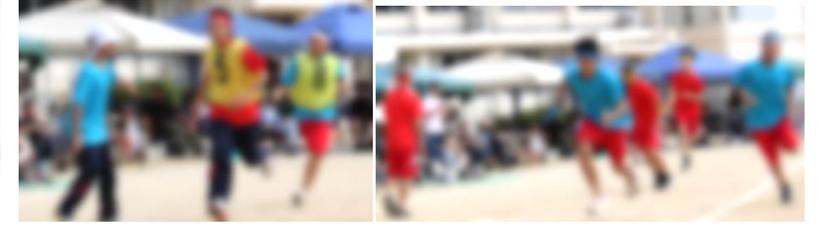
応援パフォーマンス



リーム回し



小中合同全員リレー



また、競技と役員でほとんど出ずっぱりの中学生の負担を減らそうと、今年は中学生の種目を減らすと共に、初の試みとして吉賀高校の生徒さんにも手伝っていただくことにしました。吉賀高校は丁度2学期の中間テスト期間でしたので、テスト勉強の合間を縫って2名の女子生徒がお手伝いに来てくれました（吉賀高校校長先生も参加できない生徒の分を頑張りますと参加してくださいました）。お陰様で中学生は競技と競技の間に休息することが出来ました。ありがとうございました。

**吉賀町誕生20周年記念式典**

旧柿木村と旧六日市町が合併し、吉賀町が誕生して20周年を迎えました。10月1日（水）に柿木の吉賀町ふれあい会館において、「吉賀町誕生20周年記念式典」が開催されました。岩本町長の式辞に続いた多くのご来賓の祝辞のあと、町民憲章の朗読と吉賀町歌「心の里うた」の斉唱に本校1年生16名が参加しました。町内全小中高校から参加した小学生47名、中学生34名、高校生17名の計98名の中に入り、明るく力強い歌声をホールいっぱいに響かせてくれました。吉賀町歌は、七日市では毎日お昼の11時30分に流れているので皆さん聴き慣れていると思いますが、子どもたちの歌声でフルコーラスを聴くと吉賀町の四季折々の綺麗な景色が鮮やかに浮かんできました。心にしみじみと響き染み渡る吉賀町の風景や文化。心のふるさと吉賀町の未来を、子どもたちに託していきたいと強く思いました。

吉賀町誕生20周年記念式典



秋の気配がようやく

毎年秋の彼岸の時期に咲くことに由来しているとも言われる彼岸花（ひがなばな：曼珠沙華（まんじゅしゃげ）とも呼ばれます）。「今年はなかなか見ないなあ」と気にかけていましたが、ようやく9月末くらいから通勤途中に赤い彼岸花をたくさん見るようになりました。開花は昨年より1週間以上遅いようです。彼岸花は温度を感知して開花する（日照時間の長短はあまり関係ないようです）とのことですので、例年より遅く彼岸花が咲いたということは、今年は気温が高い日々が例年より長く続いていたということも彼岸花の開花も教えてくれていますね。そして、ようやく彼岸花が開花したということは、暑い暑いと言っていた夏が終わりを迎え、徐々に秋の気配がやってきたということなのでしょうね。朝晩の気温が一気に下がりがり一日の中での気温差が大きくなりましたので、体調管理に気をつけたいものです。

